

穂積皇子に勅して近江の志賀の山寺に遣はしし時に、但馬皇女の作りませる御歌一首	
遺居而      戀管不有者      追及武      道之阿廻尔      標結吾勢 後れ居て      恋ひつつあらずは      追ひ及かむ      道の阿廻に      標結へわが背 おくれゐて      こひつつあらずは      おひしかむ      みちのくまみに      しめゆへわがせ Rather than being left here pining I will surely try to follow you, so please leave marks for me at every turn of the road to block me from following you.	英文はマクミラン (2019)による 万葉集 卷二 115 但馬皇女
異説都に残って恋焦がれたりなんかせず、あなたを追いかけていこう。 でも、それはだめ。 道の曲がり角ごとに標縄を結って(結界を張って)、その先は行けないようにしてくださいませ、道祖神様。	
通説都に残って恋焦がれたりなんかせず、あなたを追いかけていこう。 道の曲がり角ごとに、標を結んでください、あなた。(それを目印に、必ず行きますから。)	
【文献】 ピーター・J・マクミラン(2019): 英語で味わう万葉集, 文春新書 1245 (マクミランは異説で訳していることに注意)	
<a href="https://kochi-esc.sakura.ne.jp/wordpress/%e4%b8%87%e8%91%89%e3%81%ae%e5%9c%b0%e5%ad%a6/">https://kochi-esc.sakura.ne.jp/wordpress/%e4%b8%87%e8%91%89%e3%81%ae%e5%9c%b0%e5%ad%a6/</a>	